

これまでの活動報告

1月
1月議会
障害者政治参加ネットZoom大会

2月
大牟田市議会全員協議会
大牟田・荒尾清掃施設組合議会

3月
3月議会・予算特別委員会
さよなら原発市民の集い（築町公園）

いのちを想う キャンドルナイトin大牟田
保健センター「らふる」内覧会
大牟田・荒尾清掃施設組合議会大牟田側会議
総がかり行動街頭遊説（東新町）

ごみ処理施設学習会（中央地区公民館）
記録映画「食の安全を守る人々」自主上映会
働く障害のある方々を応援するまごころ
製品販売会（ゆめタウン）
パラスポーツ体験会（サンアビ）
都市環境経済委員会
大牟田・荒尾清掃施設組合議会全員協議会

4月
大牟田市職員新人研修講師
大牟田市都市計画審議会（北別館）

これからの活動予定

5月
憲法講演会

PET'Sおおむた
チャリティーマルシェ

6月
6月議会

ホットニュースを読んで頂ける方にはお
届けします。お気軽にご連絡ください。

ご投稿：災害・暴力による心の傷と回復



動作法でお世話になってい
た富永良喜先生の兵庫県立
大学大学院減災復興政策研
究科教授の最終講義より貴重
なご投稿を頂きました。

「災害や暴力による心の傷はどのようなものか、どうすれば回復できるのか？」その問いと回答は、日本の小学校・中学校・高校のどの教科書にもありません。

「え？いじめ・自殺防止に道徳を教科にしたのでは？少なくとも道徳の教科書でいじめによる心の傷と回復を学べるでしょ。」そう思われるでしょう。中学の道徳の教科書をみると、「うわさで決めるの？」ではSNSでの悪口の書き込みによりいじめとは何かを考える、「卒業文集の最後の2行」で、30年前小学生の時にいじめた子を今も思い出し辛いという加害者の心の傷が描かれています。加害者はいじめた子に謝罪をしたのかどうかもわからない物語で、被害を受けた子の回復は描かれていません。

心の傷と回復を学べるのは保健の教科書です。小学5年生と中学1年生の保健の「心の健康」には、試験や発表やけんかななどの出来事に対する心とからだの変化であるストレス反応とその対処が掲載されています。中学2年生では「犯罪被害の防止」と「自然災害に備えて」があります。しかし、災害や暴力による心の傷とその回復についてのページはありません。「心の健康」の授業時間は小中9年間で7時間、一方、道徳は314時間です。

災害や暴力による悪夢やフラッシュバック、関連する刺激（“津波”や“レイプ”という言葉や被害にあった場所）を避ける行動、抱えなくていい自責感、それらの心の傷の苦しみをどうすれば癒すことができるのか、学校で学ぶことができる日本にしてほしい。私の切なる願いです。

※3月12日の最終講義は以下で視聴できます。

<https://youtu.be/Pe2mw3CdIZ8>

【第2部：予算特別委員会での発言と活動報告など】 コロナ対策を中心にした予算特別委員会での発言

次ページにまとめた様々な相談をもとに予算特別委員会で提言・要望した内容です。特に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、原則、市が自由に使えることから、①高齢者が多い、②病院、施設が多い、③高齢の中小小売店舗の経営者が多いなど、本市の特徴に合わせて、国、県の制度ではカバーできない分野における支援制度の必要性を提言しました。

1. コロナウイルス感染症関係

（1）国の交付金の使い方について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、コロナ対応のための取組である限り、原則、地方公共団体が自由に使えることから、本市の感染状況に応じて、迅速かつ柔軟に必要な事業へ使ってください。

（2）交付金を使った具体的事業展開について

新型コロナウイルス感染症対策及び地域経済の活性化については、新年度予算に計上している事業以外にも、本市の感染状況に応じて、迅速かつ柔軟な制度や助成金等を作ってください。

（3）介護・医療従事者の宿泊支援について

新型コロナウイルスに対応する医療及び介護従事者への支援については、各種支援制度の申請手続等を含め、エッセンシャルワーカーに寄り添いながら、丁寧に対応してください。

【提言の視点】県の事業で医療、介護、障害とも全額国の負担の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」の中にホテル宿泊や賃貸マンションの費用などを全額支給する事業があります。最前線で奮闘するスタッフが安心して休める場所の提供は行政としての必要最低限の役割であり、政治判断する責務もあります。

（4）会社や商店の支援について

新型コロナウイルス感染症の拡大から3年が経過する中、業種によって様々な影響が出ていることから、国・県の支援事業に加え、本市の特徴に応じた支援策を作ってください。

【提言の視点】

①高齢者にはインターネット申請は現実的に厳しい状況です。特に国の事業復活支援金の申請は、まず、IDを取得し、市や商工会議所、金融機関等での事前審査が終わって、やっとインターネット申請ができます。しかも、20種類前後の書類をスキャナという機械で読み込んでインターネットで送ります。書類に不備があれば、機械的にメールが届きます。その内容がわかりにくい文章です。不正防止は必要ですが、申請しやすい制度に改善していく必要があります。

②業種によって厳しさが違います。洋品店等は半年、一年先の商品を仕入れる必要があり、食料品店等は飲食店の予約状況で売上が変わります。業種に応じた支援策が必要です。

2. 健康づくり活動について

健康づくり活動におけるウォーキングについては、キャンペーン時の参加者増加及び保健センターの周知啓発の観点から、他部局や各種イベントと連携しながら、参加者が増加するように取り組んでください。

3. 観光基本計画について

観光ポータルサイトの構築については、サイトの立ち上げと情報更新を同時に行うケースが一般的だが、初期の情報更新の重要性を鑑み、情報や写真等のコンテンツ更新をサイトの立ち上げと別スケジュールで行うなど、慎重に対応してください。

こんな相談を受けています

「古庄さんはいつも何してるの？」
 「議員さんは議会がないときは何してるの？」
 市民の方からよくお聞きします。
 最近の相談内容について報告します。
 また、このような相談対応が予算特別委員会などにおける政策提起に繋がっています。

1. コロナウイルス感染症関係

(1) 支援金、協力金申請など

インターネットによる申請のため、必要な書類や相談先を紹介しました。

また、インターネット等が苦手な方は、一つひとつ確認しながら、ご本人様が申請されるのに同席しました。

(2) 障害者施設、高齢者施設、病院等でコロナウイルス感染症に対応するスタッフの宿泊支援

陽性者の介護、看護に対応する人は、感染している可能性もあることから、その期間は家族へ感染させないために車中泊、ホテル泊、自分以外の家族がホテル泊をした事実があります。障害者施設などから、「今夜、横になれる場所があれば助かる」との複数の相談を頂きました。

国会議員事務所などに確認したところ、都道府県の事業で医療、介護、障害とも全額国の負担の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」の中にホテル宿泊やウィークリーマンションの費用等を全額支給する事業があるにも拘らず、私も含めて知りませんでした。介護、障害は県と市はご存知でしたが、多くの施設が知られていませでした。

予算特別委員会で、制度の周知と申請の支援を強く要望しました。【前ページの報告参照】

(3) ワクチン接種予約

インターネット等が苦手な方は、ご本人様が申請されるのに同席しました。

(4) ワクチン接種の副反応について

ご家族から相談があり、申請手続きなどを紹介する準備を進めています。市内の感染が落ち着いたら、面談予定です。

(5) 小児へのワクチン接種について

小児（5歳から11歳）へのワクチン接種については、推進されたい方、慎重な方の双方から様々なご意見を頂きました。

【慎重なご意見】

- ・成人に比べ感染者数のはるかに少なく、感染者においても症状は極めて軽いか無症状の場合が多いので必要ない。
- ・小児に接種した場合の効果や副反応に関するデータはわが国には存在せず、諸外国においてもその数は限定的であるので接種しないようにしてほしい。

【推進されたい方のご意見】

- ・学校、保育園等で感染が広がっているので、早く接種してほしい。
- ・学校で接種すると保護者の負担がなく、接種率も上がる。

【古庄からの返答】

双方とも子供を思っただけのご意見です。小児への接種は、予防接種法上の「努力義務」の対象ではありません。市では、国のほうしんどおはじめますが、感染症予防の効果や副反応など国が提供する情報などを参考に、有効性と安全性について理解した上でワクチン接種を受けるかお子様と一緒にご検討ください。

2. 障害関係

(1) 兄の家から独立したいとの電動スクーターを利用する高齢障害者からの相談

- ① 公営住宅の車いす対応住宅を申し込む
- ② 公営住宅に入居が決まったら生活保護申請のアドバイスをし、たまたま県営住宅に当選され、一人暮らしをされています。

(2) 精神疾患の方のご近所さんのトラブル

市役所福祉課総合相談担当と対応。併せて大橋県議に相談し、大牟田警察署生活安全課とも情報を共有し、協力を仰ぐ。

(3) 65歳問題には随時対応

ヘルパーやB型や生活介護などの障害福祉サービスを利用する障害当事者が65歳になった途端、原則として介護保険サービスを優先して利用する65歳問題。全国でいくつかの裁判もあり、必ずしも介護保険優先ではありません。また、昨年3月の一般質問で取り上げ、介護保険対象になっても、それまでの生活水準で暮らし続けられるよう取り組むとの市長答弁もあり、大牟田市では極端なサービス量の低下はありません。しかし、全国的な動きを見て不安がられる障害者もいらっしゃいます。まず、ご不安がなくなるように相談を受け、専門機関とも連携し対応しています。

(4) 県営住宅入居後に視覚障害のため備え付けの湯沸かし器が使えないことがわかり相談

- ① 県営住宅では入居前に内覧（下見）できない。
- ② その県営住宅の湯沸かし器は全て備え付け

この2点により、一人で入浴できない状況でした。湯沸かし器の取り換えが難しいために、大橋県議、関係機関と連携し、①簡単に使える湯沸かし器がある県営住宅に転居②転居できるまでの一定期間は入浴介助のヘルパー一時間を上乗せ支給の対応で、一人で入浴できるようになりました。

※県営住宅入居前に下見できないことが問題です。障害特性により、全盲であれば湯沸かし器等が安全に使えるか、肢体障害であればトイレがしやすいか、蛇口が回せるか、鍵がかけられるかなど一人ひとりで確認することが異なります。障害者差別解消法の観点からも合理的配慮の提供になります。福岡県が作成されている合理的配慮ガイドブックの事業分野別の不動産分野では内覧することを推奨しています。そのため、お膝元の福岡県では改善される予定です。

3. 道路関係 ※Yahoo地図より

(1) 橋中学校を横切る市道が廃止になった影響

学校再編による橋中学校の大規模改修のため、点線部分の市道がなくなり、近所の方が通勤、通院等に困っているとの相談があり、教育委員会と話し合いを続けています。



(2) 大黒町交差点の振動・騒音についての相談



この地域は以下のように広く、便利な道路が整備

されたがゆえに、大型トラック通行による騒音と振動に悩まされているとの相談を頂きました。毎日が地震のようだとの感想も頂きました。

- ① 唐船一大正町の産業道路の開通
 - ② 長溝アンダーパス（白光中学校付近）の開通
 - ③ 有明海沿岸道路健老インターの開通
- 南北は県道、東西は市道のため、県、市で連携し、舗装工事をする事になりました。

(3) 用水路付近の市道の安全確保

過去に数台の車が脱輪し用水路に落ち込もうとしたとの相談があり、安全確保のためにポールを設置しました。



(4) 栄町の歩道に車が通行するので危険

市の国県道路・地域交通対策課に相談し、国土交通省から安全確保の為にポールを設置頂きました。

(5) 甘木で国道に木の枝葉が出てきて危険

市の国県道路・地域交通対策課に相談し、国土交通省から安全確保の為に地主さんに連絡して頂きました。